

# 📞 議会だより

# ふたば

第154号  
令和8年3月

発行：双葉郡双葉町議会  
編集：双葉町議会報編集委員会  
〒979-1495  
福島県双葉郡双葉町大字長塚字町西73番地4  
☎ (0240) 33-0309



再生と繁栄に願いを込めて  
光のモニュメント（前田稲荷神社）

## 主な内容

- 令和7年第4回定例会
  - ・このようなことが決まりました…… P2～3
  - ・一般質問…… P4～9
- 臨時会・視察・研修会…… P10～11
- 議会のうごき…… P12



# 決まりました

令和 7 年第 4 回議会定例会は、12 月 9 日から 10 日までの 2 日間の日程で開かれました。

条例の制定・一部改正、契約の一部変更、協定の一部変更、指定管理者の指定、令和 7 年度補正予算などの議案が提出され、いずれも原案のとおり可決しました。内容は次のとおりです。

## 条例制定・改正

### ●双葉町太陽光発電設備の適正な設置及び管理等に関する条例の制定

自然環境、景観及び生活環境の保全はもとより、地域との調和と災害の防止を目指し事業者による適切な太陽光発電設備の設置及び管理等を促すために必要な事項を定めるため制定

### ●職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部改正に伴い、子育てをしている職員の事情に配慮しより働きやすい環境を整備するため改正

### ●町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正

### ●議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正

国の人事院勧告及び福島県人事委員会勧告に準じて、期末手当の年間支給割合を引き上げるために改正

### ●職員の給与に関する条例の一部改正

国の人事院勧告及び福島県人事委員会勧告に伴い、職員の給料表の改定を行うほか期末手当及び勤勉手当の年間支給割合を引き上げるため改正

## 主な令和 7 年度補正予算

### 【一般会計】

- ・町税賦課業務及び収納業務委託料 ..... 1,327,000 円
- ・福島県後期高齢者医療広域連合負担金 ..... 5,138,000 円
- ・双葉運動公園整備に係る用地費 ..... 362,792,000 円
- ・双葉運動公園整備に係る補償費 ..... 20,000,000 円
- ・街路灯設計業務委託料 ..... 8,000,000 円
- ・双葉地方広域市町村圏組合負担金（消防費） ..... 1,467,000 円
- ・防災備品倉庫備品購入費 ..... 4,300,000 円

### 【介護保険特別会計】

- ・介護認定審査会運営費負担金 ..... 2,698,000 円
- ・施設介護サービス給付費 ..... 37,000,000 円

## 契約の一部変更

- 契約名  
西郷内橋橋梁補修工事請負契約
- 契約金額  
変更前 61,771,600 円  
変更後 68,583,900 円

## 協定の一部変更

- 協定名  
深谷こ線人道橋撤去工事に係る協定
- 契約金額  
変更前 303,895,900 円  
変更後 285,135,983 円

## 指定管理者の指定

- 公の施設  
双葉町産業交流センター
- 指定管理者  
株式会社 サンアメニティ  
(東京都北区王子三丁目 19 番 7)
- 指定管理期間  
令和 8 年 4 月 1 日から令和 13 年 3 月 31 日

第4回  
定例会

12月9日～10日

# このようなことが

## 産業厚生常任委員会報告

【事件名】 災害対策について

【出席委員】 作本信一委員長、菅野博紀副委員長、小川貴永委員、高萩文孝委員

【委員会開催日】 令和7年10月10日、11月14日

【調査の内容】 災害対策の現状を把握するためヒアリングを実施

【調査を受けての委員会提案】

1. 高台に残存する公共施設を応急的な備蓄倉庫として活用すること
2. 災害に関する各種協定の内容を見直し、新たに物資供給協定書を締結すること
3. 町内の教育施設に災害対策の観点からプールを設置すること
4. 災害時を想定した防災訓練を行い、備蓄品をローリングストックすること
5. 各備蓄倉庫の在庫管理表を職員が把握できるように掲示すること
6. 災害時の対応をまとめた冊子を作成すること

## 12月定例会の採決状況

件名	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8
	議決結果	渡部昭洋	山根辰洋	小川貴永	伊藤哲雄	作本信一	菅野博紀	高萩文孝	岩本久人
双葉町太陽光発電設備の適正な設置及び管理等に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
西郷内橋橋梁補修工事請負契約の一部変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
深谷こ線人道橋撤去工事に係る協定の一部変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
令和7年度双葉町一般会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
令和7年度双葉町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
令和7年度双葉町介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
令和7年度双葉町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
令和7年度双葉町下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席

# 町政に切り込む!

## 一般質問

一般質問とは、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行の状況及び将来に対する方針等について所信をたずめます。

ここでは12月定例会に行われた一般質問の中で、特に注目したい質問を取り上げます。



### 【小川 貴永 議員】

1. クマ対策について
2. ドローンの導入について



### 【渡部 昭洋 議員】

1. トイレトレーラーの導入について
2. 除草作業への支援について
3. 役場庁舎内の環境改善について
4. 管理職職員の時間外在庁時間削減について



### 【伊藤 哲雄 議員】

1. 公用車におけるEV導入について
2. 公用車の運行管理体制及び運転者の管理について



### 【菅野 博紀 議員】

1. はたちを祝う会について
2. 原子力損害賠償について



### 【山根 辰洋 議員】

1. 今後の財源確保の取り組みについて
2. 組織体制の強化について





小川 貴永 議員

●ドローンの導入について

質 問

令和6年第4回議会定例会でも質問したが、全国の自治体で農地や道路の法面、河川敷などの除草作業において、人手不足や高齢化が大きな課題となっている。一方でドローン技術は年々進化したし、AIによる自動飛行や雑草判別機能も実用化が進んでおり、さらにはドローンによる肥料の散布なども行うことができると期待されている。また、企業、団体などと連携し、ドローンを活用することで、地域振興や人材育成にもつながると考える。

福島県では、ドローンサービスプラットフォーム福島県版Xross(クロス)を公開したり、ドローンのユースケース創出を支援するため、公募によるモデル事業を実施するなど、ドローン活用機の運が高まっている。当町においてドローンを導入し、除草や営農に活用する考えがあるか伺う。

町長答弁

農業や建設現場における従事者の人手不足や高齢化は、社会問題として認識されており、その課題解決へ向けた取組の1つとして、ドローンの活用が進んでいることは理解しているところである。特に農業現場では生

産性の向上を目指し、ドローンをはじめとするスマート農業技術の導入が進み、営農の転換が進んでいくものと認識している。まずは、事業者や営農者の実施主体のニーズを把握した上で、ドローン導入の必要性について検討を進めていく。

再質問

操業資格の取得や安全運行の確保など、導入後の運営についてどのような町では支援していくのか伺う。

町長答弁

ニーズを把握し、支援に関しても検討していく。

問

除草や営農のためにドローンを導入する考えはあるか伺う

答

ニーズを把握し導入の必要性や運営支援について検討する

<小川議員のその他の質問(概要)>

●クマ対策について

質 問：近年、福島県内ではツキノワグマの出没が相次ぎ、本町でも目撃情報があり、復興の進展とともにクマとの遭遇リスクが高まっている状況である。クマの生息域が拡大している要因として、温暖化による生態系の変化や里山の管理不足が挙げられるが、この状況を踏まえ、クマの生育状況調査や捕獲、誘導の協力体制を構築し、県や近隣市町村と連携し、広域的に取り組むべきだと考えるが町の考えを伺う。

町長答弁：町内においても断定には至っていないが、6件のクマとおぼしき目撃情報が寄せられたことから、町の防災無線やホームページ等で注意喚起を行ったところである。県や近隣市町村と連携した広域的なクマ対策の構築の必要性については、非常に重要な視点であると認識しているものの調整に時間を要するため、町としては喫緊の課題であるハンターの確保に向けて、狩猟者団体に協力を依頼するなど、クマ出没時の体制構築に向けた調整を進めている。

再 質 問：電気柵やごみを荒らされないための対策、住民向けのマップの配布や講習会の開催などの住民向けの対策について伺う。

町長答弁：電気柵やごみを荒らされないための対策もあるが音でクマを里から下りさせない対策も効果があると聞いている。移住者の方に地域の特性を理解していただく、クマの特性や対策などを理解していただく講習会を開くことも検討していく。



動画でも視聴可能です。



渡部 昭洋 議員

●トイレトレーラーの導入について

質問

当町は東日本大震災の経験から、災害はいつ起こるか分からず、トイレ・水・衛生環境の確保が生命と健康を守る上で極めて重要であることを町民一人ひとりが痛感した。昨年の能登半島地震でも断水が長期化し、避難所でのトイレ不足や衛生環境の悪化が深刻化し、特に女性や高齢者、障がいのある方の負担、体調悪化や災害関連死の危険性も指摘される。現在、全国で38を超える自治体がトイレトレーラーを導入し、相互支援の協定も整備されている。震災時に受けた支援への恩返しとしても、当町が導入を進め備えと支援体制を整えることが私たちの責務と考えるが、町長の考えを伺う。

問

トイレトレーラーを導入し、災害に備え支援体制を整備する考えがあるか伺う

答

運用に人員が必要となる支援であるので慎重に検討したい

町長答弁

災害時におけるトイレ・水・衛生環境の確保の重要性は深く認識している。トイレトレーラーは被災地の衛生環境向上に有効で、平常時にはイベント等での活用も期待される。一方で、初期費用に加え牽引車の確保、給水・汲み取り、維持管理費など継続的な負担や稼働日数の限定など課題もあるため、本町の人口動態等も踏まえ必要性を検討していく。引き続き備蓄更新や訓練、避難所機能の充実、関係機関連携の強化を進め、支援も二に即して実施していく。

町長答弁

確保でき、駅前や産業交流センターへの常設で防災意識の発信にもなる。さらに他地域災害時の派遣は、支援を受けた本町の恩返しとして最も効果的と考えるが、町として現時点で想定する支援の在り方を伺う。

再質問

本件は3月定例会でも導入を提案し「今後検討」との答弁であった。トイレトレーラーは災害時に迅速に衛生環境を

震災以降、全国の自治体から多大な支援を受け、現在も職員派遣など継続している。本町は復興途上であり、派遣支援も今後しばらく必要と考えている。職員不足が続く中、トイレトレーラー導入や被災地への派遣は、運用に人員が必要となるため慎重に検討すべき課題であると考えている。一方、支援を受けた町として恩返しの重要性は認識しており、被災自治体のニーズを調査し、町として可能な限りの支援に取り組み。

<渡部議員のその他の質問（概要）>

●除草作業への支援について

質問：町外で生活しながら帰町して除草作業を行う町民から、運搬負担や車両不足、草の処分場所がないなどの声がある。負担軽減のため、草刈り機や軽トラックの貸出し、処分場所整備を検討すべきと考えるが町長の考えを伺う。

町長答弁：草刈機3台を今年度中に貸出し開始の予定。軽トラックの貸出しは令和8年度開始で検討している。草の廃棄場所は南部衛生センターに搬入していただくなど対応をお願いしたい。

●役場庁舎内の環境改善について

質問：役場庁舎の窓口が分かりにくい、静かすぎる、声をかけづらい等の声がある。適度なBGM導入等、町民対応と庁内環境の改善に向け、現状認識と今後の対応を伺う。

町長答弁：役場庁舎に総合窓口を設置し、速やかに窓口案内ができるよう改善したいと考えている。庁内の環境については職員にアンケートを実施する等改善に努める。

再質問：マウスをクリックする音や紙をめくる音が聞こえるほど静かで、相談している事が担当者以外に聞こえないか心配だが、対応を伺う。

町長答弁：気になる方へは必要に応じ別室へ案内し対応する。BGM導入は効果も理解しており、検討する。

●管理職職員の時間外在庁時間削減について

質問：管理職の時間外在庁が長時間化し、健康や家庭への影響、職場の雰囲気悪化や若手の退庁遅れを招く恐れがある。働きやすい環境づくりに向け、町の取組と今後の対策を伺う。

町長答弁：復興業務等で負担増の中ではあるが、管理職研修を実施しマネジメント力向上に取り組むとともに職員の確保、業務の効率化にも取り組む。



動画でも視聴可能です。



伊藤 哲雄 議員

● 公用車におけるEV導入について

質問

電気自動車（EV）は走行時に二酸化炭素を排出さず、環境負荷の少ない次世代自動車として注目されている。当町においても導入すべきと考えられているが、今後、公用車に電気自動車を導入する考えはあるか伺う。

町長答弁

現在、公用車として電気自動車1台を導入し、町内や近隣市町村への出張など、走行距離が比較的短い用途に活用している。

る。あわせて、双葉町をイメージしたダルマを車両にデザインし、庁舎正面玄関付近に駐車することで、環境負荷に配慮した取組を対外的に周知しよう努めている。

今後の電気自動車導入については、現在の運行状況に加え、特定帰還居住区域の解除を見据え、町内での活動増加が見込まれることも踏まえ、来年度当初予算への計上も視野に検討している。

再質問

電気自動車の導入時期及び今後の導入予定台数について、現時点での考えを伺う。あわせて、車

両購入や充電設備整備に当たり、補助制度の活用を含めた町の財政負担の見込みについても伺う。また、公用車の電気自動車化を優先的に進める上での基本的な考えについて、町長の所見を伺う。

町長答弁

現在導入しているシーポッドは航続距離に課題があるため、町内利用及び近隣自治体までの運行に限定している。来年度当初予算では、より航続距離が長く、パワーのある電気自動車の導入を視野に、購入の可否を含めて検討を進めるとともに、補助制度への対応や

充電設備の充実についても併せて検討していきたい。

公用車を一気に電気自動車へ切り替えるのではなく、エネルギー事情やCO<sub>2</sub>削減の観点を踏まえ、水素自動車などCO<sub>2</sub>を排出しない車両も含め、町としての活用可能性を見極めながら取り組む。導入台数は今後検討の上、判断する。



現在、公用車として導入している電気自動車

問

公用車に電気自動車を導入する考えがあるか伺う

答

現在1台導入しているが、より航続距離が長く、パワーのある車両の導入、充電設備の充実について検討を進めたい

<伊藤議員のその他の質問（概要）>

● 公用車の運行管理体制および運転者の管理について

質問：公用車1台を車検が切れた状態で使用していた事案が発生した。町民の信頼を損ねる重大な問題である。運行管理体制の見直しと再発防止の取り組み、職員の運転免許の管理方法について伺う。

町長答弁：11月4日、公用車1台の車検切れ使用が判明し、町民の皆様に深くおわびする。原因は整備事業者からの通知の見落としと、データで車検有効期限を確認していなかったこと。再発防止として、車両内・運転日誌・管理システムに満了日を明示し、複数職員で車検スケジュール確認を徹底する。免許については運転者台帳を整備し、写しの提出を求め健康状態も把握している。



動画でも視聴可能です。



菅野 博紀 議員

●原子力損害賠償について

質 問

原子力損害賠償紛争審査会の返答に動きがないのは、委員の任命を行う文部科学省の責任もあると思う。原賠審が被害者の要望も聞かないのであれば、今後は文部科学大臣に要望すべきと思うが、町長の考えを伺う。

町長答弁

昨年9月に開催された原子力損害賠償紛争審査会との意見交換会において、大村会長に要望書を手渡し、日常生活阻害慰謝料の賠償期間については到底受け入れられない、現地を直接ご覧になって被災住民の声に耳を傾け、中間指針の見直しに向けて議論を尽くしていただきたいと申し上げている。

問

原子力損害賠償は原子力損害賠償紛争審査会ではなく文部科学大臣に要望してはどうか

答

原子力損害賠償紛争審査会にも要望を継続しつつ、文部科学省にも交渉していきたい

また、避難指示区域内の営業損害、就労不能損害についての確実迅速な賠償、指針の見直しについても要望しているが、これらの要望に審査会からの回答はない。ご指摘のとおり文部科学大臣への要望も視野に入れ、機会を捉えて要望活動を継続していく。

再質問

原子力損害賠償紛争審査会は国の言いなりなのかと思う。町民の話聞いてと言っても聞き入れてくれない。今後は文部科学大臣に出てきてもらわないと話が進まないと思うが、町長の考えを伺う。

町長答弁

原子力損害賠償紛争審査会の会長以下委員の方々は聞き入れてはくれるが指針として何も変わっていないことに不

再々質問

信感を覚える。被災者には個別事情がありその損害に関しては一律ではないと、結果が出るとなると裁判しかなか、町としては毎年視察して被災の実情、実態を知ってもらい賠償のかさ上げを指摘しているのが実態である。

原子力損害賠償紛争審査会では話が先に進めないのので、焦点を文部科学省に変えて文部科学大臣に来てもらい町民の話聞いてもらったほうがよいと考えるが、町長の考えを伺う。

町長答弁

原子力損害賠償紛争審査会には継続して要望、所管省庁の文部科学省にも町として交渉して取り組んでいく。

<菅野議員のその他の質問 (概要)>

●はたちを祝う会について

質 問：昨年までは1月に開催していたが、なぜ今年度は9月開催となったのか、理由を伺う。

教育長答弁：避難先の式典に参加する方が多く、年を追うごとに参加者が減少しており、1月開催を継続すべきか、お盆を含めた夏開催にすべきかの判断に迷っていたところ、夏休みだと参加しやすいとの声が届いたため、開催時期を9月として対象者にアンケートを実施し、開催に至ったところである。  
また新成人チャレンジ事業を同時に開催しており、次年度以降の出席者増加を見込める工夫も取り入れながら、今後も参加者のニーズを踏まえて検討していく。

再 質 問：9月の中途半端な時期に開催しているところがあるのか。近隣町村ではお盆の時期に開催している。教育委員会の都合で新成人チャレンジ事業の参加者が少ないためはたちを祝う会を同時に開催したように見えるが、このことについて伺う。

教育長答弁：近隣町村で9月に開催しているところはないが、震災当時、対象者は低年齢であり双葉町の思い出や記憶などの希薄化が考えられ、はたちを祝う会への参加者は年々減少しており、大変悩んでいる。9月というのは一提案として出させていただいたが、今後1人1人の意向を取り上げられるよう、考えている。

再々質問：9月開催では帰れない人も多いと思う。はたちを祝う会は一生涯に一度である。今回こうなった理由をもう一度伺う。

教育長答弁：1月開催での参加者が減少している。若い人たちにエールを送る大切な行事と認識しており、出来るだけ双葉町に訪れる機会を与え、そういった工夫を今後も継続していきたい。



動画でも視聴可能です。



山根 辰洋 議員

●今後の財源確保の取り組みについて

質問

令和6年度双葉町一般会計並びに特別会計の審査意見書において、監査委員より、各事業の多くが国・県からの依存財源により執行されており、今後5年程度で補助金等の削減が懸念されることから、国・県への財源確保要望と並行して、自主財源確保の取組と将来のシミュレーションを行う必要があるとの総合審査意見が示されている。この意見を踏まえ、今後どのような取組が必要であると考えているか、短期的な対応と中期的な方針について伺う。

町長答弁

短期的には、引き続き国・県に対し復旧・復興事業に係る財源確保を強く要望するとともに、各事業の目的や効果をより明確にし、一般財源の歳出の抑制に努め、あわせて、ふるさと納

再質問

税や資金運用、町有資産の活用による新たな財源確保を進めていく。中長期的には、移住・定住の促進や企業誘致による税源の涵養を図り、公共施設の維持管理費を見据えた基金の計画的な積立を行うことで、健全な財政運営に努めていく計画である。

町長答弁

将来人口二千人規模を前提に、復興創生期間終了後を見据え、国とどのように連携し、交付金や財源を安定的に確保していくのか。町税をどのように増やしていくのか、ふるさと納税について、事業者と連携しながら、どの分野を深掘りしていくのか。産業交流センターなど公営施設の赤字をどのように抑制していくのか。職員数の減少を見据え、事務の効率化や広域連携をどのように進めていくのか。この4点について伺う。

再々質問

台帳を基に特例的に算定されており、当面は震災前の住民を基準として継続されるものと考えている。税収面では、住民税は人口増が前提となるため、移住や帰還の促進が重要になる。また、福島第一原子力発電所5・6号機関連施設による固定資産税など、一定の税収も期待している。ふるさと納税については増加傾向にあり、返礼品の品目拡充や商品開発に取り組んでいく。公共施設については、赤字を出さない運営を基本とし、コミュニティセンターについては宿泊施設化など利活用を検討している。

将来を見据え、基金に過度に依存することなく、健全な財政運営に努めていく。

町長答弁

また、将来を見据えた身の丈に合った開発が重要であると考えているが、医療や福祉の広域化も含め、どこまで整備を進め、どの程度の規模を目標とするのか、町長のお考えを伺う。

<山根議員のその他の質問（概要）>

●組織体制の強化について

質問：人材育成・確保基本方針の策定状況と、不適切事務処理の発生を踏まえ、働き方改革やDX導入、複数人で業務を担う体制づくりなど、組織体制強化の現状と今後の取組を伺う。

町長答弁：震災後の状況変化を踏まえ、職場環境整備やデジタル人材育成を含む新たな基本方針の策定に向け情報収集を進めている。若手育成と職員の健康管理を課題とし、管理職による業務管理と職位別研修を実施している。

再質問：組織の仕組みや働き方の文化、若手職員に裁量を持たせた育成といったことも考えられるがいかがか。

町長答弁：大規模な組織改編は慎重に判断しつつ、DX導入やテレワークなど働き方の見直しを進める。

再々質問：業務の整理や紙文書削減など、小さな改善からDXを進めることも必要だと思うがいかがか。

町長答弁：決裁の省力化など事務の効率化に向けた検討を進めている。

答

問

監査委員の総合審査意見を踏まえ、今後の財源確保の取組について伺う

歳出の抑制、ふるさと納税など新たな財源確保に努めながら移住定住の促進や企業誘致による税源の涵養をはかる



動画でも視聴可能です。

# 令和 8 年 第 1 回 議会 臨時 会 1 月 21 日

## ● 双葉運動公園基盤整備事業業務委託契約の締結

契約の方法 随意契約

契約の金額 8,178,605,600 円  
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 743,509,600 円)

契約の相手方

独立行政法人都市再生機構東北震災復興支援本部  
(福島県いわき市平並木の杜 2 番地)

## 主な補正予算 (令和 7 年度一般会計)

- 物価高騰対応支援給付金事業費 …… 57,100,000 円
- 物価高対応子育て応援手当支給事業費  
…………… 14,664,000 円

## 契約の一部変更

● 契約名  
双葉駅東地区商業施設建設工事  
(その 2) 請負契約

● 契約金額  
変更前 506,000,000 円  
変更後 528,562,267 円

● 契約名  
双葉町慰霊碑等整備工事請負契約

● 契約金額  
変更前 69,850,000 円  
変更後 77,385,000 円

件 名	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8
	議決結果	渡部 昭洋	山根 辰洋	小川 貴永	伊藤 哲雄	作本 信一	菅野 博紀	高萩 文孝	岩本 久人
双葉運動公園基盤整備事業業務委託契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
双葉駅東地区商業施設建設工事 (その 2) 請負契約の一部変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
双葉町慰霊碑等整備工事請負契約の一部変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
令和 7 年度双葉町一般会計補正予算 (第 4 号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席

# 大熊町・双葉町議会交流会 1 月 19 日

大熊町保健センターにおいて、大熊町・双葉町議会交流会が開催されました。

両町議会議員がモルックやクロリティなどのニュースポーツ体験を通じて交流を深めるとともに、意見交換を行いました。



## 中間貯蔵施設視察 1月21日

中間貯蔵施設の現状を確認するため、1月21日に現地視察を行いました。

昨年3月に開所した「中間貯蔵事業情報センター」で事業の進捗について説明を受けた後、施設内にて道路盛土実証事業、特定廃棄物選別場、仮設焼却施設及び仮設灰処理施設等を視察し、環境省職員と質疑応答や意見交換を行いました。



仮設焼却施設・仮設灰処理施設



中間貯蔵事業情報センター



道路盛土実証事業

## 双葉地方町村議会議員研修会 2月6日

2月6日、双葉町産業交流センターにおいて、双葉地方町村議会議員を対象とした研修会が行われました。

### 【研修内容】

- 東京電力・福島第一原子力発電所事故と廃炉  
講師：原子力損害賠償・廃炉等支援機構  
廃炉統括監 更田 豊志 氏



**議会の定例会は年4回  
(3月、6月、9月、12月)開催されます。**

傍聴もできますのでお気軽にお越しください。

3月定例会の日程については、3月上旬にホームページでお知らせいたします。

【お問い合わせ先】  
議会事務局 ☎0240-33-0309

双葉町議会ホームページでは、本会議の日程、議会議事録(平成23年以降)などを掲載しています。



**双葉町議会**

検索

議会インターネット中継もご覧いただけます。



議会のこしき

12 月

2 日 議会運営委員会  
議会全員協議会

高市早苗総理大臣町内視察

4 日 「ふたば、ふたたび☆みらいへの  
ヒカリプロジェクト」イルミネー  
ション点灯式

9 日～10 日

令和 7 年第 4 回双葉町議会定例会

総務教育常任委員会

産業厚生常任委員会

議会運営委員会

議会全員協議会

16 日 双葉町行政区長会懇親会

1 月

5 日 東京電力 HD(株)要求書手交

6 日 双葉町賀詞交換会

7 日 双葉消防本部出初式

9 日～11 日

第 36 回双葉町総合美術展

10 日～11 日

令和 7 年度双葉町ダルマ市

第 10 回双葉町民作品展覧会

11 日 奉納神楽大会

第 35 回双葉町芸能発表会

15 日 生徒海外派遣結団式

19 日 大熊町・双葉町議会交流会

21 日 議会運営委員会  
令和 8 年第 1 回議会臨時会

議会全員協議会

22 日 中間貯蔵施設現地視察

23 日 総務教育常任委員会

23 日 双葉町ふるさと復興事業協同組合  
総会

24 日～31 日

国際交流事業(訪英)

31 日 第 2 回復興千支祭り

標葉郷騎馬会新年会

浪江青年会議所新年交流会

2 月

3 日 双葉町復興町民委員会

6 日 双葉地方町村議会議員研修会

16 日 双葉地方広域市町村圏組合議会保  
健衛生常任委員会

17 日 双葉地方広域市町村圏組合議会消  
防厚生常任委員会

18 日 福島第一原子力発電所現地視察

双葉地方広域市町村圏組合議会総  
務常任委員会

20 日 双葉地方水道企業団議会定例会

25 日 福島県町村議会議長会定期総会

27 日 双葉地方広域市町村圏組合議会定  
例会



12月2日 高市早苗総理大臣町内視察



1月5日 東京電力 HD(株)要求書手交

編集後記

3月11日で、あの東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所事故からちょうど15年を迎えます。あの当時を思い出しますと突然の原発事故により強制避難を強いられ全国各地に町民が散り散りとなりました。今、双葉町は帰還、移住された町民が200名ほど元気に暮らしています。

もうすぐ桜の花の時期。4月上旬以降、桜前線が北上してまいりませぬ。県内外に避難されている方々もぜひ、前田川河川敷のサクラ鑑賞にお出かけしませんか。

【編集委員会】

- 委員長 作本 信一
- 副委員長 渡部 昭洋
- 委員 小川 貴永
- 委員 山根 辰洋

(作本)

議会だよりへのご意見・ご感想をお寄せください。

双葉町議会事務局

電話:0240-33-0309

FAX:0240-33-0310

メールアドレス:

gikai@town.futaba.fukushima.jp